

日本語教育学研究と学習者言語研究のクロスポイント

第二言語習得研究と
テスト開発、そして
教師の評価リテラシー

特別講演会



伊東祐郎教授
(東京外国語大学副学長)

本講演が東京外国語大学での最終講義となります

2019年3月14日(木) 16:00~17:00

(13時からの坂本正先生(名古屋外国語大学)の
ご講演・茶話会のあとに開催いたします)

東京外国語大学留学生日本語教育センターさくらホール

外国語教師にとって第二言語習得研究(SLA)からの知見は不可欠である。
特にテスト開発の際には、何をどのように測定するか、
また測定から得られた情報をどのような基準に基づいて評価するかなど
一連の作業においてSLAの研究成果は重要な役割を果たす。講演では、
テスト開発におけるSLAと評価リテラシーの関係について考察してみたい。

参加無料 | どなたでもご参加いただけます
東外大以外からのご参加も大歓迎です☺
お申込みはこちらから <https://goo.gl/LSfm2S>



◆「日本語教育専攻学生のための研究セミナー」では、第二言語習得研究および日本語教育研究に取り組みたいと考えている方に向けて、「研究を進めていくうえで考えたいこと、知っておきたいこと」について、2018年12月から2019年3月まで、毎月1回を目安に様々な先生方にレクチャーをしていただきました。本特別講演会にも、多くの学生さんにお越しいただけたら嬉しいです。